

日本ITストラテジスト協会 (JISTA) では、会員の皆様や入会を検討されている方向けに会の活動をご紹介します広報物としてNewsletterを不定期で発行しております。

前回のNewsletter発行が2014年3月でしたので約1年半振りの発行となりましたが、今後も継続して発行をしていきますので、今後とも日本ITストラテジスト協会 (JISTA) Newsletterをよろしくお願いします。

－今回のラインナップ－

- ・支部活動のご紹介(2014年設立 中国支部)
- ・会員執筆書籍のご紹介(と著者サイン入り書籍のプレゼント企画)
- ・情報処理技術者試験 全区分制覇会員に聞いてみよう!
- ・各支部イベント情報
- ・役員会便り

支部活動のご紹介(2014年設立 中国支部)



中国支部長の諸葛です。

中国支部は2014年7月に設立され、1周年を迎えました。

隔月での定例会に加え、オンラインによる他支部との連携など、活動が活発になってきています。

まだ活動の中心が広島ですが、徐々に活動の範囲を広げ、JISTA各支部や中国地区の他団体とも連携しながら長期的な活動が出来る基盤作りを目指しています。

支部主要メンバーの「設立して良かったこと」「やってみたいこと」を紹介します。



副支部長 服部さん

色々な分野の方と直接討議できる場ができました。これから積極的に参加したいと思います。ユーザ目線でITの活用を模索していきます。



副支部長 田川さん

支部メンバーの方々との繋がりができ、また、意見や情報交換により個人的成長を実感しています。



会計担当 志多木さん

中国地域で活動されている情報系の皆さんの交流が活発になることを望んでいます。「その他の団体との交流などが行えるといいなあ」と思っています。



会計担当 山本さん

システム技術者のコミュニティ創りができたことで、各支部とのオンラインコミュニケーション実践などができればいいと思っています。



WEB担当 白銀さん

システム導入時の経営者やシステム担当者からの相談に対するアドバイスについて、勉強会で参考になる意見を聞くことができると期待しています。



中国支部へのお問合せは ↓
http://www.jista.org/modules/liaise/?form_id=16

会員執筆書籍のご紹介(と著者サイン入り書籍のプレゼント企画)

JISTA会員の武藤と申します。このたびのNewsletterの再開、大変喜ばしく存じます。

さて昨年11月に拙著「スゴ腕のITエンジニアになる」を上梓させていただきました。記念すべきNewsletter再開号にて本書のご紹介をさせていただけるとのこと、大変光栄に存じます。

本書は、一般の学生や社会人の方が知っているようで実はよく知らない「IT業界」をご紹介する書であるとともに、ITエンジニアとして成長し自己実現するにはどのような道筋があるのか、ということを解説させていただいております。

ご承知の通り、現在のIT業界は「2015年問題」と言われる大型案件ラッシュの状況下にあります。また、それによる人材不足感に伴い就職・転職の人材市場の方も、活況を呈しています。

しかし、ITバブルとか2000年対応で大賑わいだった時代を振り返ると、熱狂の後には希望退職も含めた大規模リストラが、大手をはじめとしたIT企業にて待ち構えていました。現在の活況の後に、再び同じことが繰り返される可能性が全く無いとは、だれにも言えないことではないでしょうか。

そして大切なことは、自らが理想として描いた未来のあるべき姿に向けて、決して容易では無いながらも着実にさまざまなスキルやキャリアを積み重ね、己を磨いていくことではないでしょうか。

本書では、ITエンジニアとして自己実現を目指す方法や、次世代のさまざまな職種、キャリアパスなどについて解説しております。また、各方面で活躍されているJISTA会員の方に執筆協力いただき、その知見を集めることによって、経営層やコンサルタント、組込みエンジニアなど、幅広い範囲をカバーしております。

冒頭で「一般の学生や社会人」と述べましたが、第一線でご活躍されているITエンジニアの方にも、視野をより広げるという意味でぜひご一読いただければ幸いです。

武藤祐一郎



今回こちらで紹介させていただいた書籍(著者のサイン入り)を、抽選で1名様にプレゼントさせていただきます。

締切は2015年9月15日(金曜日)、発送は9月下旬を予定しております奮ってご応募ください。

会員が執筆・関わった書籍のご紹介とプレゼント企画は継続予定です。今後もNewsletterをよろしく願いたします。

ご応募はこちら→<http://www.jista.org/modules/bmsurvey/survey.php?name=Newsletter201508>



【情報処理技術者試験 全区分制覇会員に聞いてみよう！】

Q1.お名前を教えてください。

佐野 浩

情報処理系の会社に所属し、プログラマー→システムエンジニア→アプリケーションアーキテクトとごく一般的なSE人生を歩んでいます。
社会人暦27年目です。

Q2.どの支部に所属していますか？

北海道支部所属です。

Q3.JISTAに入会したのはいつですか？

平成17年の秋と思われます(記憶が定かではありません)。

Q4.JISTAに入会したきっかけは何ですか？

北海道地区はもともとITストラテジスト(当時はシステムアナリスト)の人数が少ないために、上級システムアドミニストレータ、中小企業診断士、ITコーディネータの有志でオフライン活動を行っていました。上級シスアドの資格取得時にその会に誘われたのがきっかけです。
その後、システムアナリストの資格を取得した時点で、正式にJISTAに入会しました。

Q5.全区分制覇したのはいつですか？

平成19年の秋です。2回合格したものも含めてですが、情報処理技術者試験**通算17勝7敗**はかなりの高合格率だと思います。

Q6.全区分制覇で苦労したことはありますか？あれば教えてください。

試験の科目毎に色々な苦労がありました。

上級システムアドミニストレータは普段の役割とは全く違う試験なので、人材像が把握できずに2回不合格。

システムアナリストはやはり難易度が一番高いと思います。1回不合格。

テクニカルエンジニア(ネットワーク)は全くネットワークのことを知らないため、苦戦しました。1回不合格。

Q7.全区分制覇して何か変わりましたか？

自分の会社ではそれほどアピールしていませんが、勉強会を主催したり、北海道支部の情報処理試験勉強会の講師を務めたりといった、活動に参画することができました。

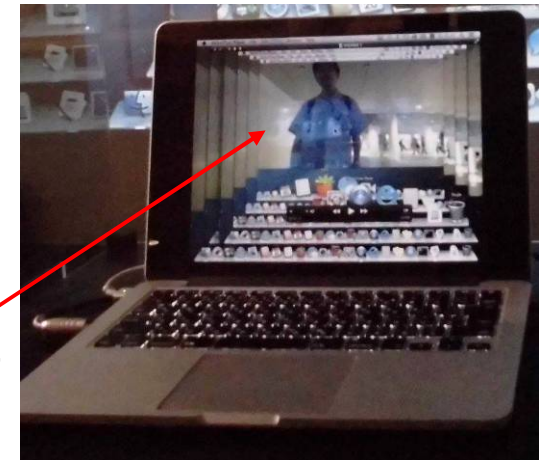
また、IPAの合格体験記、日経BP社が運営するIT proのIT資格不合格体験記を書かせて頂いたのも、良い経験です。

他には、当時は合格一時金が会社から出る時代でしたので(今は出ません・・・)、通算で**100万円**以上頂いているという実利も伴っています。

Q8.情報処理技術者試験以外に持っている資格があれば教えてください。

アマチュア無線電話級(現在の第4級)、P2Mプロジェクトマネジメント・スペシャリストを取得しています。

比較的最近、メンタルヘルスマネジメント試験、中小企業診断士に連続して不合格になっているのが残念です。



佐野さんです

各支部イベント情報

各イベント後には
 懇親会が
 予定されています

9月

9月5日(土)～ 9月6日(日)	中部支部	日本システム監査人協会 西日本支部 合同研究会 in GIFU
9月12日(土)	関西支部	オープンフォーラム2015(大阪市)
9月19日(土)	北海道支部	ビジネスアナリシスセミナー2015(札幌市)
9月19日(土)	四国支部	オープンセミナー2015(高松市)
9月19日(土)～ 9月20日(日)	後援	日本システムアドミニストレータ連絡会 第16回全国大会(仙台市)
9月26日(土)	関東支部	月例会

10月

10月3日(土)	関西支部	ITストラテジスト試験勉強会 2015 in 関西
10月15日(木)	北海道支部	北海道支部 定例会(札幌市)
10月24日(土)	九州支部	九州支部 定例会(福岡市)
10月24日(土)	東北支部	三団体(JISTA東北、SAAJ東北、ITCみやぎ)共催 ワークショップ
10月24日(土)～ 10月25日(日)	北海道支部	SAAJ-H、ITC-Sapporoとの合同合宿(場所未定)
10月25日(日)	関東支部	月例会

*予定は変更になる可能性があります。

開催内容詳細や申込み方法は主催支部までお問合せ下さい。

各支部イベント情報

各イベント後には
懇親会が
予定されています

11月

11月7日(土)	関東支部	オープンフォーラム2015 & 全国大会(秋葉原)
11月14日(土)	四国支部	定例会(松山市)
11月28日(土) ~ 11月29日(日)	九州支部	佐賀定例会・合宿(佐賀市)

*予定は変更になる可能性があります。
 開催内容詳細や申込み方法は主催支部までお問合せ下さい。

【役員会便り】

JISTA会員の皆様、総務担当の谷口です。現在、総務の主正面業務は役員定数改訂です。JISTAになってから基盤の整備により協会運営は ある程度落ち着いてきたので役員会の業務を見直す時期にきていることと、ここ2年連続で 役員立候補者の定数割れが続く状況を考慮して、一部役職を統合・削減を検討しています。

最終的には、会員の皆様の賛同を得られることが前提ですが、現在の役員定数16名から3~4名 程度減員とする予定です。各役員の業務の手順も定型化されてきてます。一度役員をやってみませんか？